

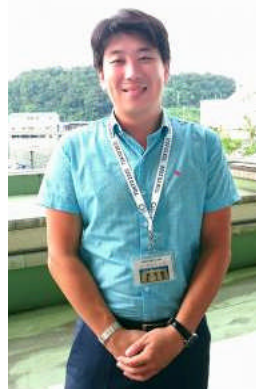
給食だより

10月

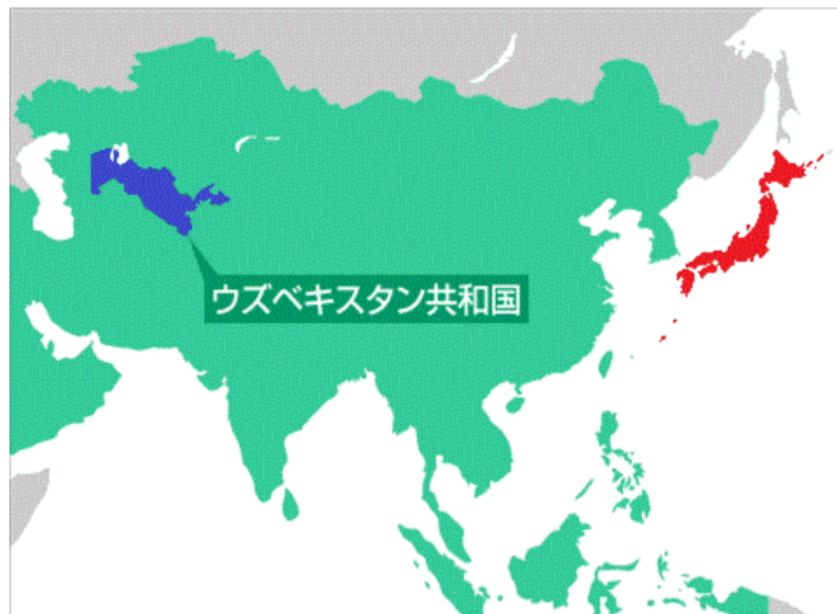
舞鶴市立倉梯第二小学校

ウズベキスタンってどんな国？

ウズベキスタンは日本からおよそ6,400km離れた中央アジアにあり、人口は約3,000万人、1991年にソビエト連邦から独立した国です。面積は、日本の約1.2倍です。首都はタシケント。



レ アルトゥルさん
ウズベキスタンからの国際交流員として1年間、舞鶴市で勤務されます。



給食のこんだて

香草サラダ

野菜と玉ねぎのみじん切りにディルという香草を混ぜた、シンプルなサラダです。

プロフ

牛肉、玉ねぎ、にんじんをオリーブ油で炒めて塩とクミンシードで調味し、ごはん混ぜ合わせます。



ガロフスープ

ガロフはひよこ豆のことです。大きく角切りにした肉、にんじん、じゃがいも、玉ねぎ、ひよこ豆を煮込み、ディルという香草の入ったスープです。

舞鶴とのつながり 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに

今から約70年前の第二次世界大戦後、ソ連（今のロシア）のシベリアや中央アジアに多くの人が連れて行かれました。ウズベキスタンには約25,000人の日本人が住まわされ、発電所や学校などを建てました。それらの多くは今も使用され、大地震でもこわれなかったため、勤勉な日本人は尊敬され続けているそうです。

ウズベキスタンでナヴォイ劇場を建設した日本人のほとんどが、舞鶴港に引き揚げてこられました。このように、戦後日本人が海外から帰国することを「引揚」といい、舞鶴港には13年間にわたって多くの人々が帰ってこられました。

「海外引揚がつかないだご縁」を東京オリンピック・パラリンピックにつなげようと「ホストタウン」に登録されました。



紙幣に描かれている日本人が建設に関わったナヴォイ劇場

国際交流員の「レ アルトゥルさん」にインタビューしました。

○ウズベキスタンの料理で好きなものは何ですか？

好きなものは・・・プロフです。米、肉、玉ねぎ、にんじん、ひよこ豆を入れて作ります。地域や家庭によって入る具や味、色などが違います。



○食べるときのあいさつはありますか？

日本のように【いただきます】に「ちそうさま」にあたることばはありません。どうぞお召し上がりください」という意味の「クムリ イシタハ」ありがとうございます」という意味の「ラフマト」が食事の時に使うことばです。食事以外にも使います。

○主食は何ですか？

主食は・・・ノンというパンです。プロフは米ですが日本のように主食ではなく、料理です。プロフとノンと一緒に食べることもあります。ノンは地域によって硬さや味が違います。



○普段よく食べるものは何ですか？

ウズベキスタンはいろいろな民族が集まっているので、たくさんの種類の料理があります。その中でもプロフをよく食べます。誕生日や結婚式などのお祝いの時に必ず出る料理です。特別な時にはカズイという馬の肉で作ったソーセージが入ったプロフを食べます。